町田市町内会・自治会
連合会だより
E-mail : machida_choujiren@yahoo.co.jp
2023年 12月
97号
217 団体
79,268 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人　高橋清人

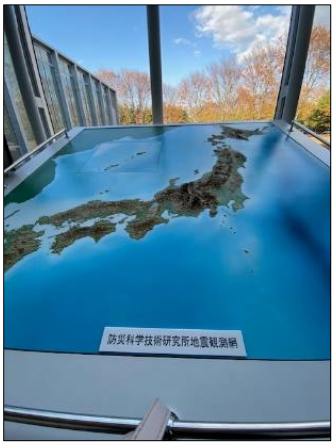
２０２３年度　会長研修会の報告

１１月２８日（火）～２９日（水）に実施された「会長研修会」に参加しました。参加者は４３人、バス２台で朝８時に原町田大通りから出発しました。行程は、一日目がつくば市にある「つくば防災科学研究所」「JAXA つくば宇宙センター」、二日目は宇都宮にある「大谷資料館」「大谷観音」の見学です。

「研修テーマ」　地球環境問題について

印象的だったのが、「つくば防災科学研究所」での大地震体験コーナーでした。
３人の方が勇気を出して代表で体験されましたが、見ているだけで「阪神淡路大地震」「東日本大地震」のすごさを実感しました。

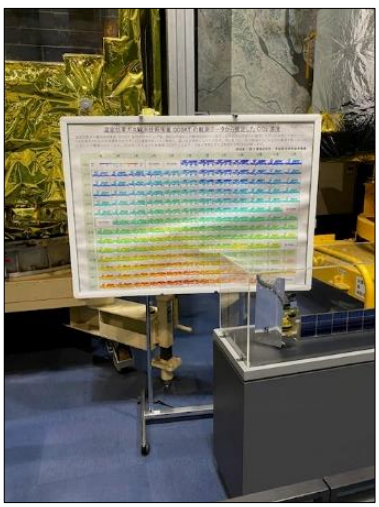
見ごたえがあったのは、「JAXA つくば宇宙センター」でした。展示館は１１ものコーナーがあり、一つ一つを案内の係の方がていねいに説明してくれました。



中でも目を引いたのが２００９年に打ち上げられた温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」の昨年までの観測結果データの表示でした。現在、ドバイで国連気候変動枠組み条約第２８回締約国会議（COP２８）が開かれています。

産業革命以降の地球の平均気温上昇を 1.5℃以内に抑える目標を達成できるかどうかが話し合われています。CO_2削減を待ったなしに行わないと地球で人類が生存できなくなると警告されていますが、「いぶき」のデータはそのことを科学的に実証していました。

２００９年に地球の表面気温は青で表示（右写真）されていましたが昨年２０２２年は真っ赤になっていました。このままでは「やばい！」と心底ぞっとしました。



二日目も、澄み渡った秋空の中、「大谷資料館」「大谷観音」を見学しました。紅葉が素晴らしく、案内のガイドさんの言葉に感心しながらの旅でした。

（編集委員　木原信義）

２０２３年度町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会報告

町田市10地区をまとめる市連合の市政懇談会が11月17日、町田市民フォーラムで開催されました。 町田市からは、石阪市長をはじめ議題に関連した担当部長が出席し説明を行い、質疑応答を行いました。また、石阪市長からは町田市政全般についての現状報告がありました。

議題と主な説明は以下の通りです。

１「町田駅周辺整備計画について」

・1970～80年代の中心市街地整備から約50年が経過し、民間事業者に都市再整備の機運がある。
・2022年10月に「町田駅周辺整備計画有識者検討委員会」を発足させ、議論をしている。
・2024年3月には素案を作成し、2024年6月には整備計画を策定したいと考えている。
・多摩都市モノレールは2021年12月に延伸ルートが選定されている。
・今後は2023年11月に構想素案の作成、2024年3月にまちづくり構想策定を予定している。

２「いちのいち無償化のお願い」

・「いちのいち」は、129団体、約3,000人の町内会・自治会員の方に利用していただいている。
・「いちのいち」には月２回、回覧物・掲示物を配信しており、町内会・自治会の皆様が活用方法を模索していると認識している。
・市では、地域を廻ってご意見を聞くことを予定している。実際に使っている皆さんのご意見を聞き参考としたい。
・いろいろなことを開発事業者に提案し、「いちのいち」を皆様の価値を上げるツールにして行きたい。

３「境川洪水対策」

・神奈川県、東京都に計画的な整備の実施を要望している。「境川流域水害対策計画」が策定されたが計画の対象期間は、概ね30年と書かれている。
・神奈川県には今後も強く要望し、年次計画を早く出すよう働きかけていく。

４「避難施設の確保」

・首都直下型地震の災害想定が発表され、町田市も多摩東部直下型地震に対応するための計画改定を予定している。
・避難施設連絡会を通じて体育館以外のスペースの使用や要配慮者の収容を調整している。
・屋外テントを配備し活用の可能性を模索している。
・近年の大規模災害の知見から、避難所だけでなく、自宅での在宅避難という方法もあるのでこれを奨励している。また、各企業と災害協定を結び災害時対策事業を進めている。

５「地域交通の今後のあり方について」

・地域の移動支援団体に呼びかけ、支え合い交通連絡会を開催し意見交換をしている。
・交通事業者と連携し実証実験をしている。地域や事業者と意見交換を行い、要望への実現に向けて取り組んでいきたい。
・支え合い交通事業は、市役所のいろいろな部局が関係するので、庁内で情報共有しながら進めてまいります。

（編集委員　熊坂恵司）